

# 第11期 運用報告会

## 【プログラム】

金融改革とつみたてNISAへの期待（セゾン投信社長 中野晴啓）

第11期運用報告（セゾン投信 運用部）

投資家から見たセゾンファンド（FCP代表 房前督明氏）

皆さまからの疑問、質問にお答えするQ&Aコーナー

## ～「セゾン号」にご乗車の皆さまへ～

セゾン投信の2本のファンドは運用開始から間もなく丸11年を迎えます。2007年のスタート時、この国では長期投資は亜流で積立投資は邪道といった業界風潮がありました。毎月分配型投信が売れ筋ファンドとして資金を集め、やがて複雑な仕組みが組み合わされた商品の登場により高分配金競争が激化していったのです。

それから11年が経ち、金融改革の進展に従い「つみたてNISA」が始まりました。「長期・積立・分散」の実践こそが生活者の資産形成の王道と金融庁が定義するに至り、セゾン投信が一貫して標榜してきた長期資産育成型の投資信託が日本でも主役の座に就こうという、既存業界のビジネスモデル大転換へと導かれ始めています。地球経済の成長軌道に乗って、ゆったりのんびりお金を育てていく「長期・積立・分散」投資は、言うまでもなく「セゾン号」の十八番です。そして11年に亘る継続した運用成果を堂々と示しつつ、セゾン投信は「つみたてNISA」の一般化に向けて全力投球を始めています。本物の長期投資が生活者の行動規範として定着する時、「セゾン号」乗客の皆さまはその先導者として、ずっと先に進んでいることでしょう。

本日の運用報告会は、そうした長期投資の旅の途上を皆さまに直接お伝えする場です。引き続き長距離列車「セゾン号」に末永くご乗車を続けていただきますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

セゾン投信 代表取締役社長 中野晴啓

# 目次

---

「第11期運用報告/運用部」補足説明資料	3
「投資家から見たセゾンファンド/房前督明氏」補足説明資料	24
【付 録】	
運用報告会でよく使われる用語集	33
あなたのNISAよくある質問ベスト3	33
お客さまの特徴&都道府県別お客さまマップ	34
「長期投資×？」の化学反応！？セゾン投信のラジオ風番組	34
セゾン投信を知る出版物	35

---

## 第11期運用報告会

セゾン投信株式会社 運用部

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を表したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### 株式市場の概況①（地域）

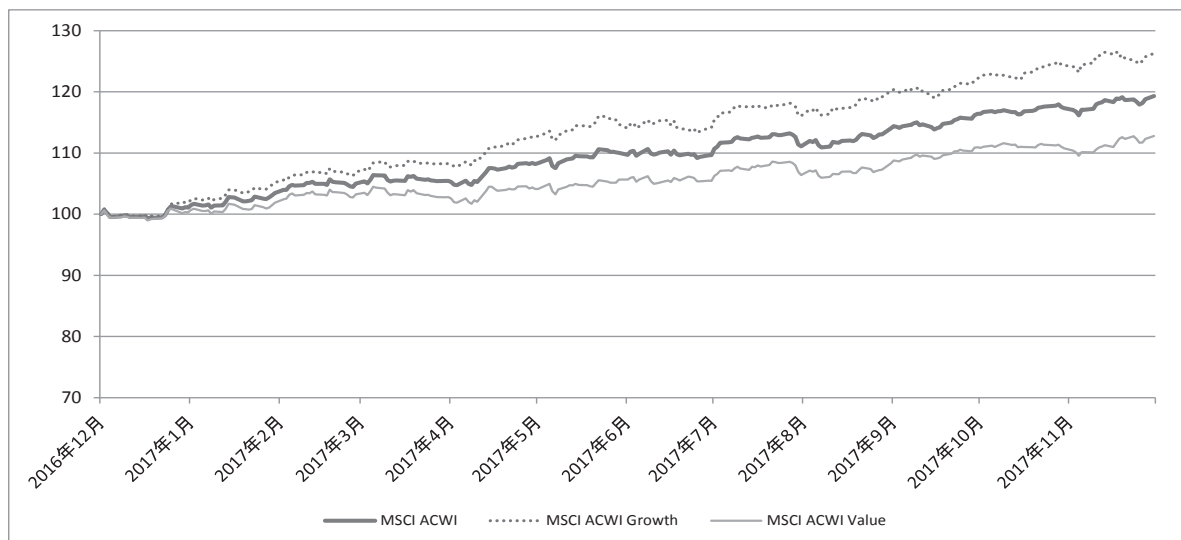
- ▶ 全ての地域で上昇。特に新興国が大きく上昇。
- ▶ 地域別株価指数の騰落率(2016/12/12→2017/12/11)
  - ▶ MSCI先進国【ドル】: +18.2%
  - ▶ MSCI北米【ドル】: +17.3%
  - ▶ MSCI欧州【ユーロ】: +9.6% (ドル建て: +21.4%)
  - ▶ MSCI日本株【円】: +16.2% (ドル建て: +17.8%)
  - ▶ MSCI太平洋(日本を除く)【ドル】: +14.0%
  - ▶ MSCI新興国市場【ドル】: +28.4%

## 株式市場の概況②（セクター）

- ▶ 技術革新とそれに伴う社会変化への期待が高まり、情報技術が大きく上昇
- ▶ エネルギーシフトによる需要低下への警戒が強まり、エネルギーは軟調
- ▶ 主な業種別株価指数の動き(2016/12/12→2017/12/11)
  - ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス【ドル】:+19.3%
  - ▶ 情報技術:+39.9%
  - ▶ エネルギー:-0.6%

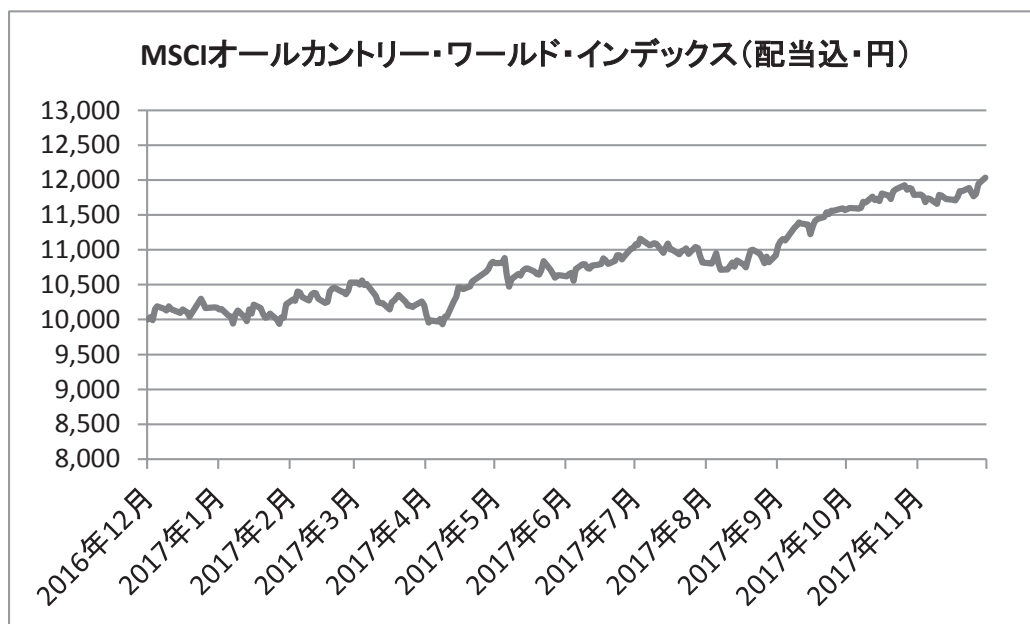
## 株式市場の概況③（スタイル）

- ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス【ドル】:+19.3%
- ▶ グロース指数:+26.3%
- ▶ バリューストック指数:+12.8%



## 株式市場の概況④

- ▶ 途中、政治的な混乱への警戒が高まったことを受けて、軟調に推移する局面もあったものの、上昇が継続

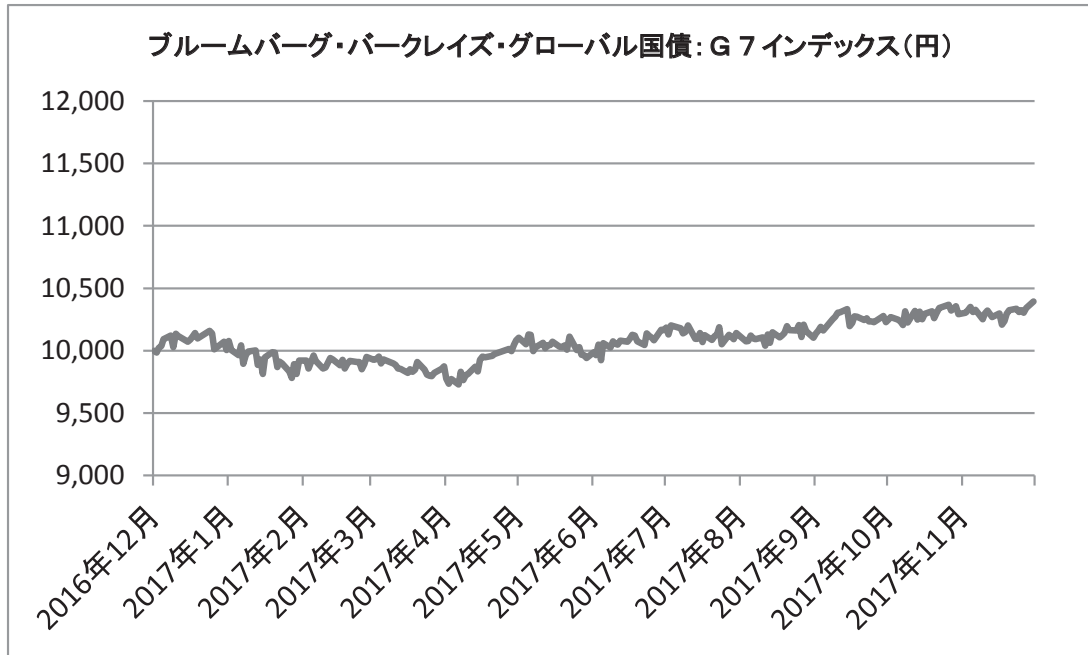


## 債券市場の概況①

- ▶ 全般的に堅調な展開
  - ▶ 米国債は、2018年以降の利上げペースが緩やかなものになるとの見方が拡がり、堅調な展開。
  - ▶ ユーロ圏の国債は、量的緩和の拡大規模が縮小に向かっているものの、金融緩和環境が長期間維持されるとの見方を背景に、イタリアなどの周縁国を中心に堅調な展開。
  - ▶ 日本国債は、金融政策に変化が無く、小幅な動き
- ▶ 各市場の金利の変化(2016/12/12→2017/12/11)
  - ▶ 米国10年: 2.47%⇒2.39% (-0.08%)
  - ▶ ドイツ10年: 0.40%⇒0.29% (-0.11%)
  - ▶ 日本10年: 0.09 %⇒0.05 % (-0.04%)

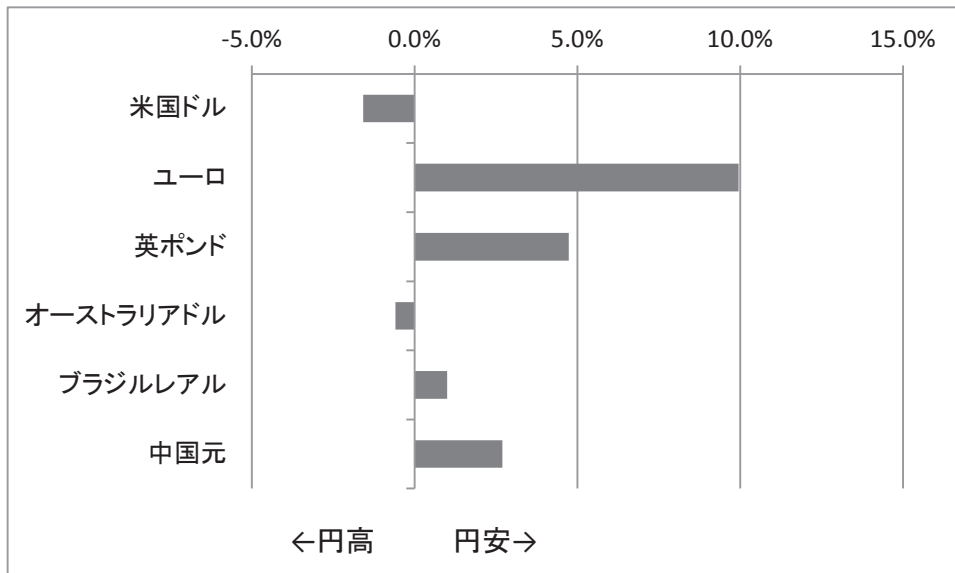
## 債券市場の概況②

- ▶ 前半やや軟調に推移したものの、後半に上昇。



## 為替市場の概況

- ▶ ドルは利上げ観測が後退して軟調な展開、ユーロは、域内景気の堅調さが確認されたことを受けて上昇。
- ▶ 円は、リスク選好が強まるなかでやや軟調な展開



## 期中の基準価額の推移【SVGB】

### ▶ 期中の騰落率: +11.27% (13,181円→14,667円)

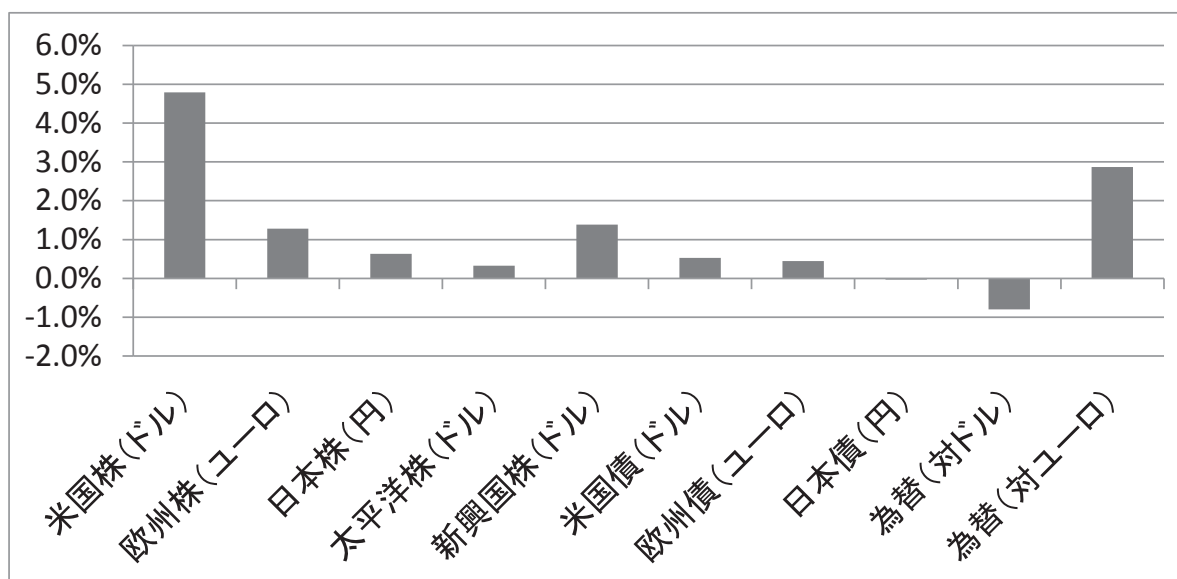
- ▶ 期を通じて、世界的に株式市場が上昇基調であったほか、債券市場も堅調な展開でした。また、為替も対ユーロで円安となったことから、基準価額は上昇しました。

期中の基準価額等の推移



## 基準価額の主な変動要因【SVGB】

- ▶ 投資先ファンドはプラス寄与、特に米国株式が大きな上昇要因。為替は対ユーロの円安がプラスに寄与。





# 1万口当たりの費用明細【SVGB】

- ▶ 費用については、特に大きな変動はございません。
- ▶ 2017年3月11日に信託報酬を0.01%引き下げました。

## 1万口当たりの費用明細

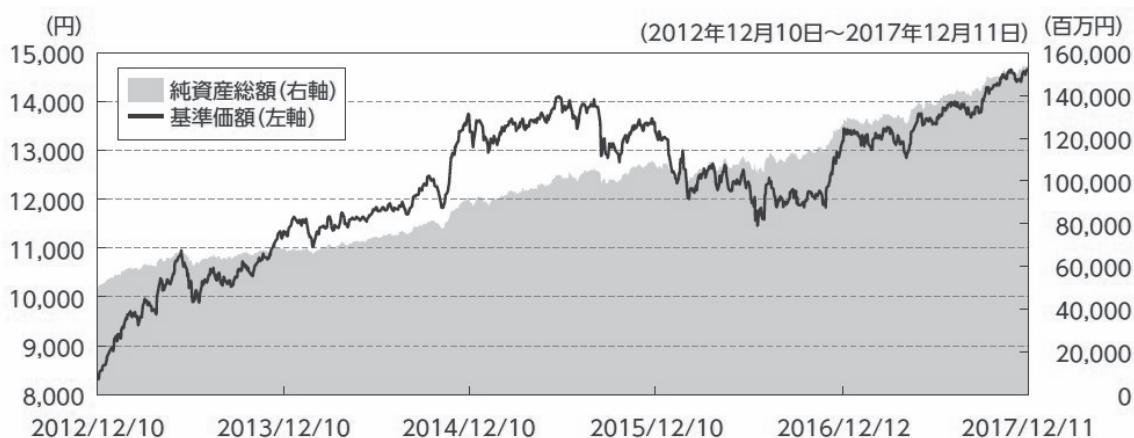
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016年12月13日~2017年12月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	69円 (37) (26) (5)	0.499% (0.273) (0.188) (0.039)	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用  (監査費用)  (その他)	0  (0) (0)	0.001  (0.001) (0.000)	(b)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	69	0.500	

期中の平均基準価額は13,726円です。

# 最近5年間の基準価額等の推移①【SVGB】

- ▶ 今期は3期ぶりのプラスでした。

## 最近5年間の基準価額等の推移

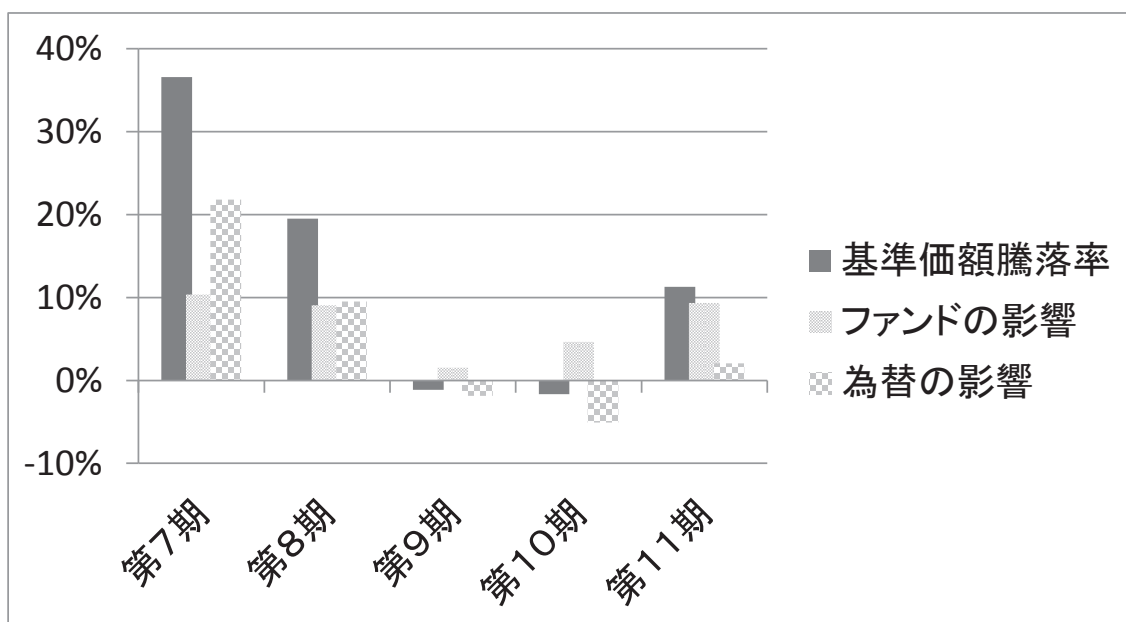


	2012年12月10日 決算日	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日
基準価額 (円)	8,309	11,347	13,561	13,406	13,181	14,667



## 最近5年間の基準価額等の推移②【SVGB】

- ▶ 投資先ファンドが5期連続のプラス寄与、為替は3期ぶりのプラス寄与でした。



## 運用経過と結果①【SVGB】

- ▶ 購入とリバランスの為の売却を行っています。
  - ▶ 購入額合計が約137億円、売却額合計が約19億円です。
  - ▶ ファンドの売買回転率は約11%です。(純流入は約9%)

### <参考情報>

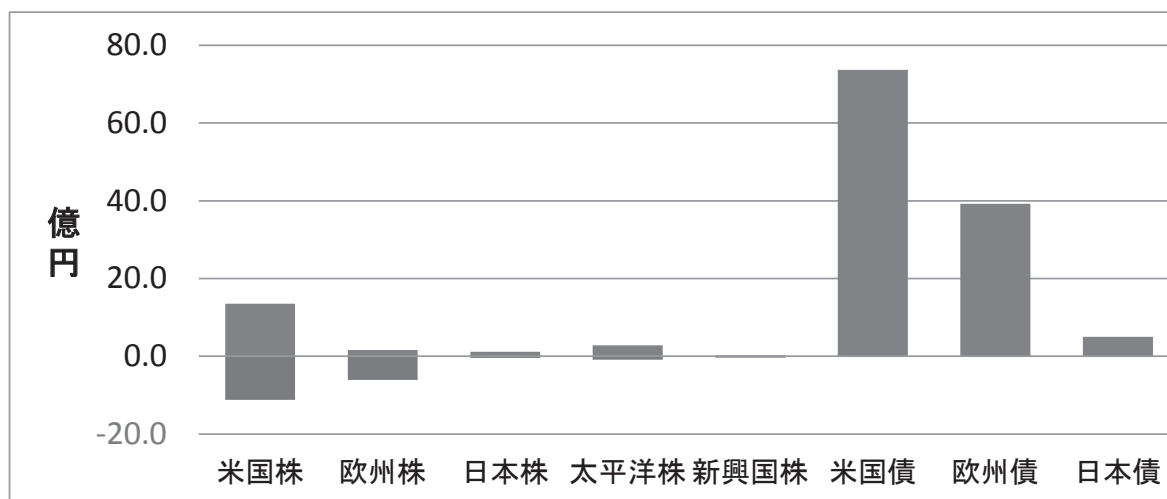
期中の売買及び取引の状況 (2016年12月13日から2017年12月11日)

投資証券		買付金額	売付金額	
外 国	アイ ル ラ ン ド	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千円 119,800	千円 44,384
		バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	503,600	-
	アイ ル ラ ン ド	バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千米ドル 12,384	千米ドル 9,702
		バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	250	314
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	2,585	718
		バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	65,427	-
	アイ ル ラ ン ド	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千ユーロ 1,212	千ユーロ 4,880
		バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	31,458	-

- ・金額は受渡し代金です。
- ・千単位未満は切り捨てて表示しております。

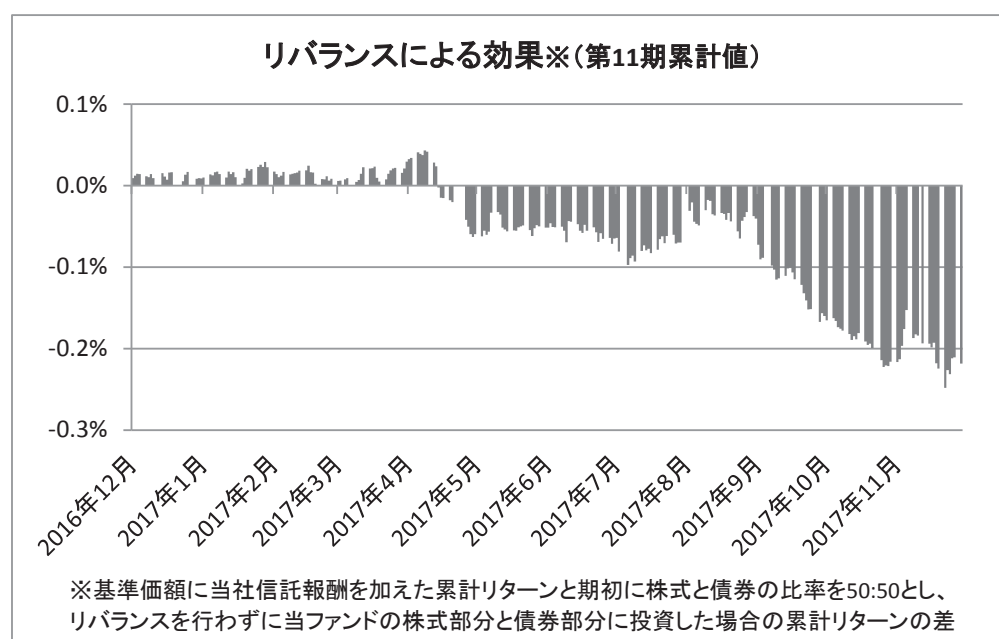
## 運用経過と結果②【SVGB】

- ▶ 1年を通じて債券ファンドを中心に投資を行いました。
  - ▶ 純投資額のほぼ全額を債券ファンドが占めました。
  - ▶ 2016年12月、2017年10月にファンドの売却によるリバランスを実施しました。



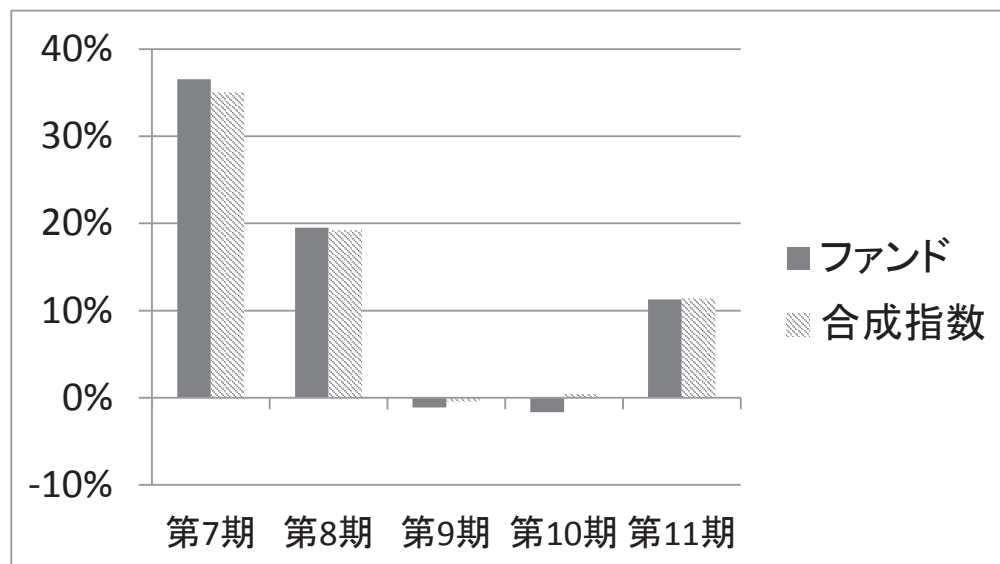
## 運用経過と結果③【SVGB】

- ▶ 後半、株式の上昇が続く、一方的な動きとなったため、リバランス効果はマイナスでした。



## 参考指数との差異【SVGB】

- ▶ 概ね株式と債券半々の参考指数と同じ動きでした。
  - ▶ 参考指数はベンチマークではありません。また、1期末ごとに株式と債券のリバランスを行う想定で算出しています。



## 分配金【SVGB】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

### 分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第11期
	2016年12月13日～2017年12月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,254

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針【SVGB】

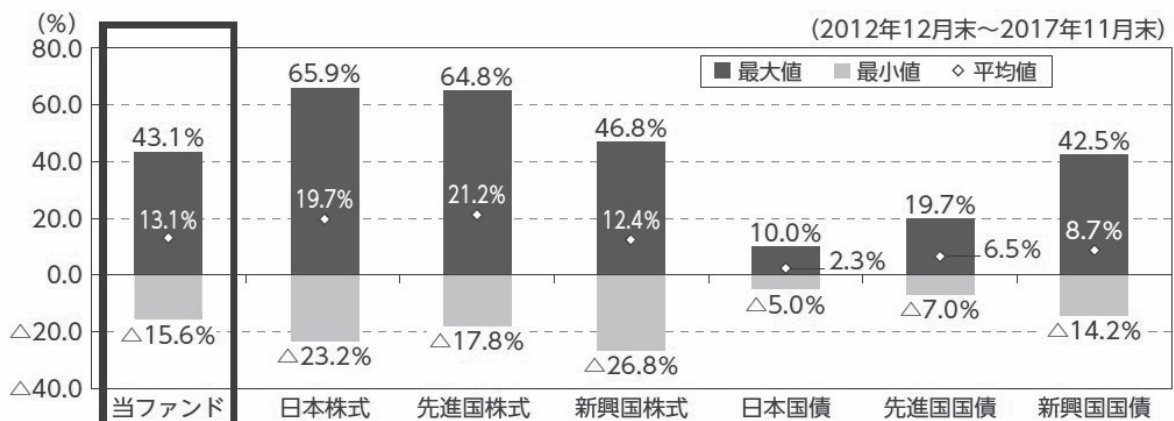
- ▶ 定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。
- ▶ 原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

(参考情報)

## 代表的な資産クラスとの比較【SVGB】

- ▶ 株式と債券への分散、幅広い国際分散により変動幅が抑えられていることがご確認頂けます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2012年12月から2017年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

## 期末のファンド組入れ資産【SVGB】

- ▶ 株式：
  - ▶ 新興国の比率が上昇し、米国の比率が低下しました。
- ▶ 債券：
  - ▶ 欧州の比率が上昇し、日本の比率が低下しました。

### 当ファンドの組入れ資産の内容

(2017年12月11日現在)

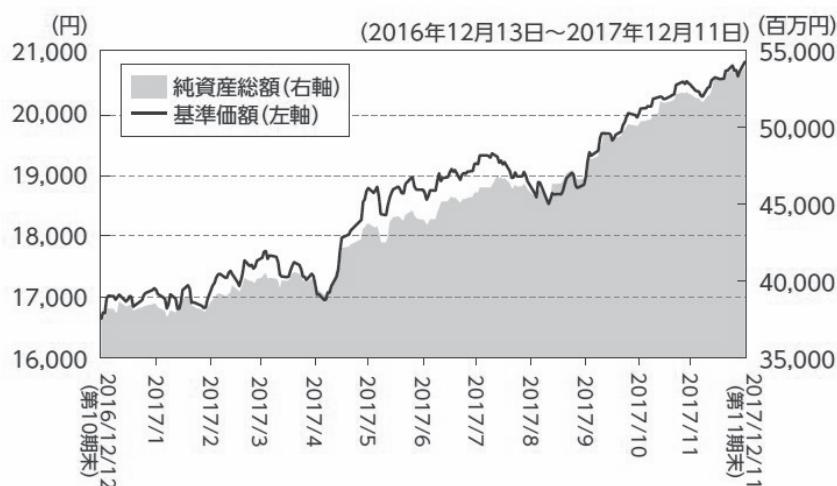
#### ■組入ファンド

	第11期末(2017年12月11日) 組入比率
バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	27.4%
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	24.6%
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	18.8%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	10.7%
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	6.2%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.9%
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	4.0%
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	2.0%
その他(短期金融資産等)	0.4%
組入ファンド数	8銘柄

## 期中の基準価額の推移【達人】

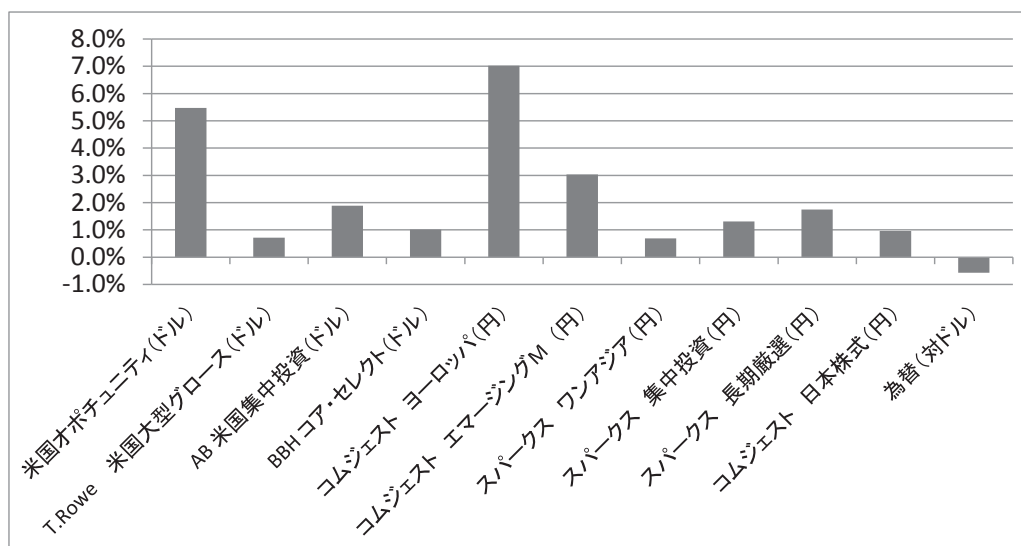
- ▶ 期中の騰落率：+25.05% (16,637円→20,804円)
  - ▶ 資産配分が追い風となったこともあり、市場が大きく上昇するなかでも、参考指数(+19.54%)を上回る結果でした。

### 期中の基準価額等の推移



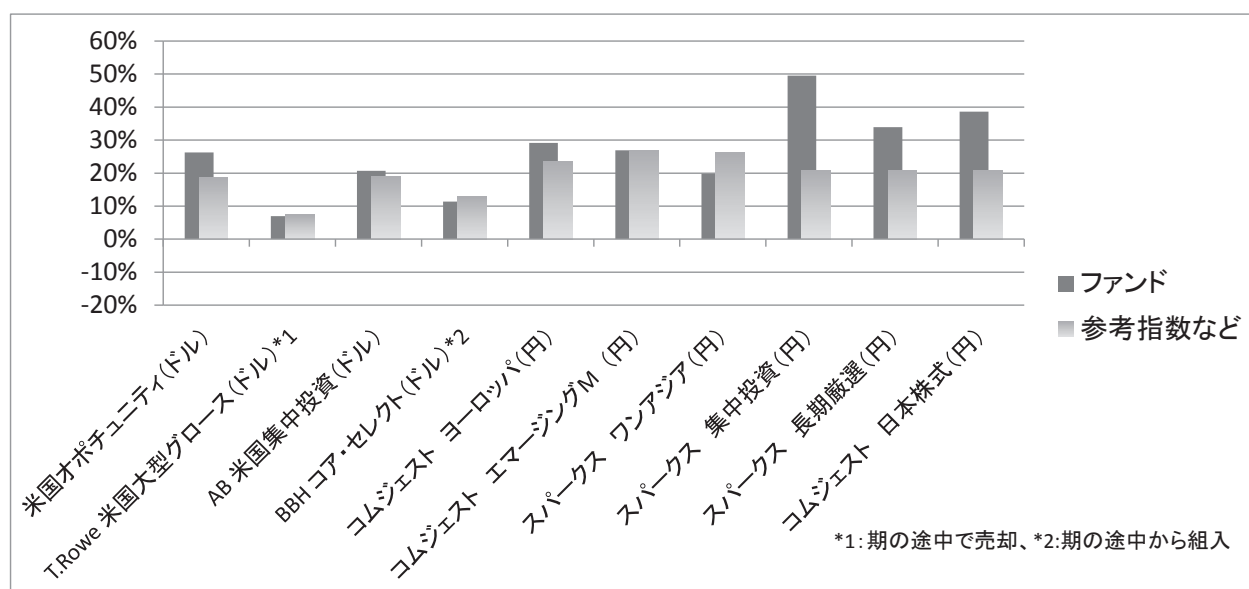
## 基準価額の主な変動要因①【達人】

- ▶ 全てのファンドがプラス寄与となり、特にコムジェストヨーロッパファンド(円)、米国オポチュニティファンド(ドル)が大きく上昇に寄与しました。



## 基準価額の主な変動要因②【達人】

- ▶ 日本の株式に投資を行う3ファンド、米国オポチュニティファンド、コムジェストヨーロッパファンドなどが銘柄選択効果により、参考指数を上回りました。





# 1万口当たりの費用明細【達人】

- ▶ 費用については、特に大きな変動はございません。
- ▶ 2017年3月11日に信託報酬を0.01%引き下げました。

## 1万口当たりの費用明細

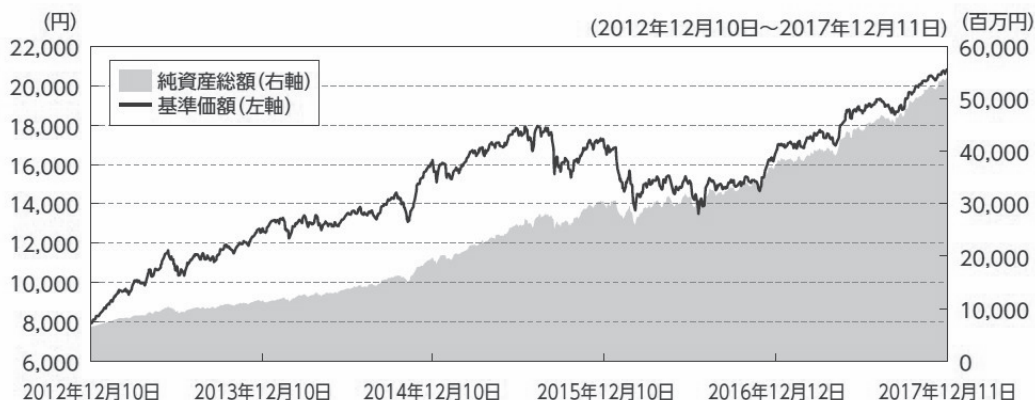
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016年12月13日~2017年12月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	107円 ( 59) ( 40)  ( 8)	0.575% (0.316) (0.216)  (0.043)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用  (監査費用)  (その他)	0  ( 0)  ( 0)	0.002  (0.002)  (0.000)	(b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	107	0.577	

期中の平均基準価額は18,525円です。

# 最近5年間の基準価額等の推移①【達人】

- ▶ 第11期は2期ぶりのプラスでした。直近の5年間は、第10期を除いてプラスでした。

## 最近5年間の基準価額等の推移

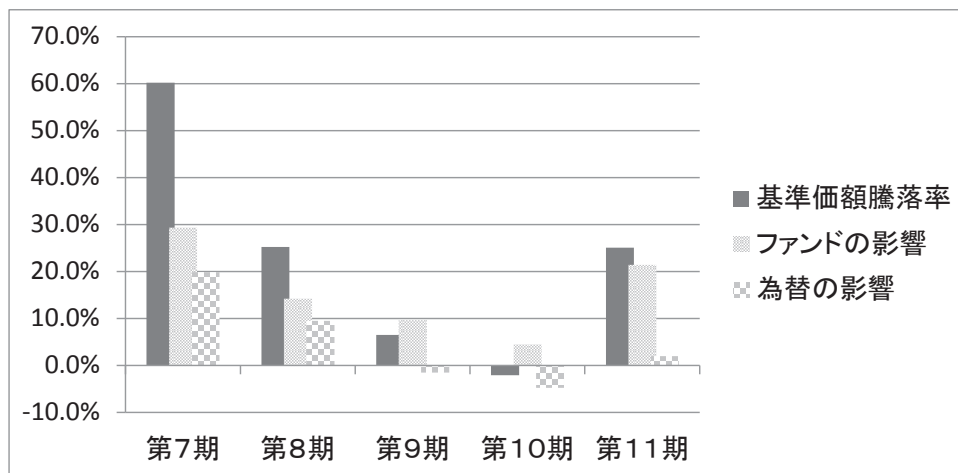


	2012年12月10日 決算日	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日
基準価額 (円)	7,955	12,743	15,960	16,995	16,637	20,804



## 最近5年間の基準価額等の推移②【達人】

- ▶ 投資先ファンドは、5期連続でプラス寄与、為替は3期ぶりのプラス寄与でした。



※日本コムジェストヨーロッパファンドは、ユーロ建て、  
日本コムジェストエマージングマーケットファンド、  
スパークスワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算

## 運用経過と結果①【達人】

- ▶ 購入額合計が約94億円、売却額合計が約42億円です
- ▶ 売買回転率は約30%です。(純流入が約14%)

### <参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2016年12月13日から2017年12月11日)

投資信託受益証券		買付金額	売付金額
		千円	千円
内	ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)	1,885,000	-
	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA (適格機関投資家限定)	685,000	-
	スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS (適格機関投資家限定)	320,000	-
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	-	20,000
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	205,000	10,000
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	190,000	-
投資証券		買付金額	売付金額
		千米ドル	千米ドル
外	アルゼンチン ルフレ センブルグ	8,150	398
内	バンガード米国オポチュニティファンド	-	36,053
	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロス・エクイティ・ファンド	5,600	-
	アライアンス・パーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	42,387	-

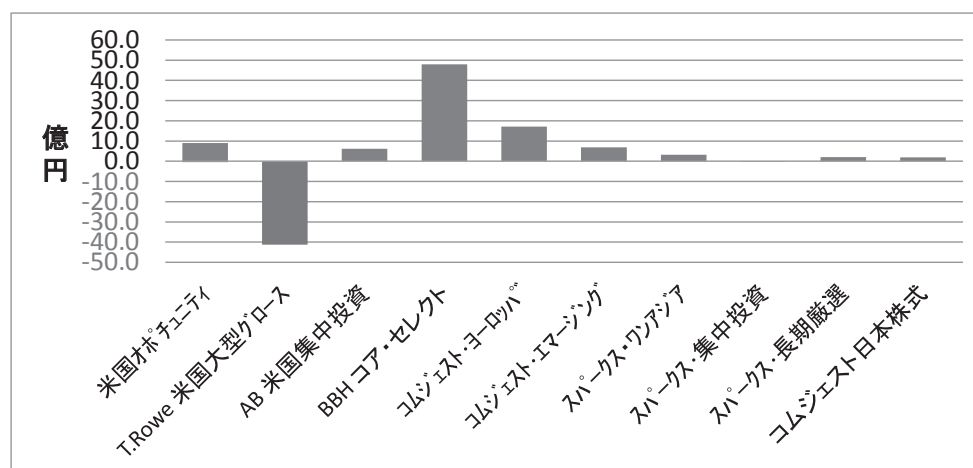
・金額は受渡し代金です。  
・千単位未満を切り捨てて表示しております。

## 運用経過と結果②【達人】

- ▶ 3月に「BBHコア・セレクト・ファンド」への投資を開始し、「T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド」を全額売却致しました。
- ▶ 入れ替えることを決定した背景
  - ▶ 長期視点での個別銘柄の選定に一段と重点を置く。
  - ▶ 特定のベンチマークを意識しない運用に集中する。

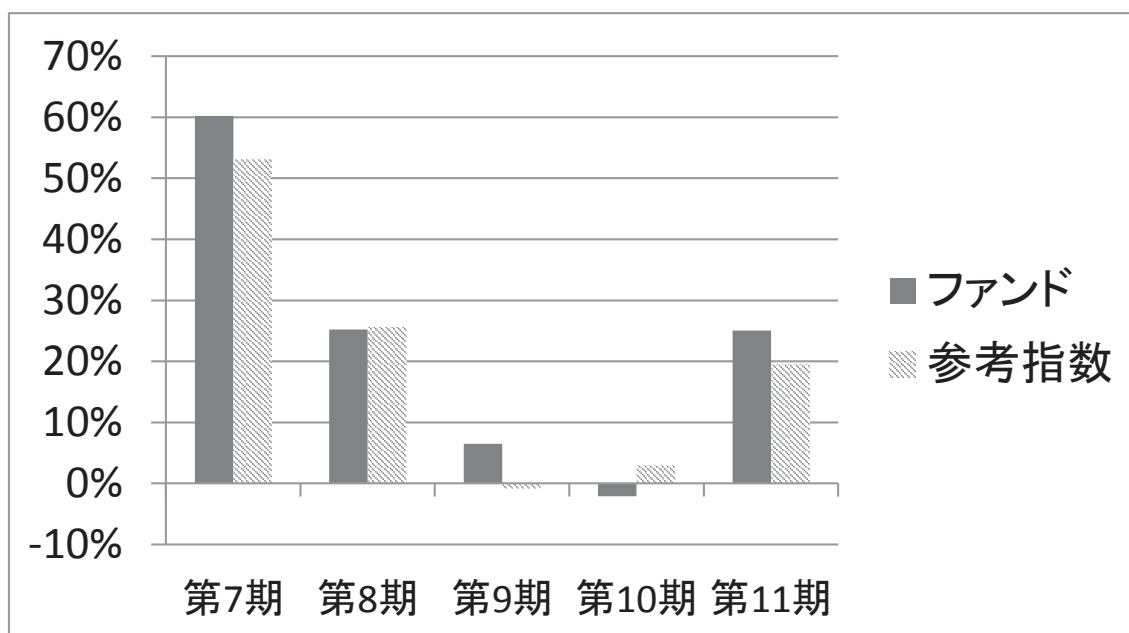
## 運用経過と結果③【達人】

- ▶ ファンドの入替以外では、相対的に軟調な値動きとなった「スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド」、「BBHコア・セレクトファンド」への投資額が目標比率に対して高めであった一方で、堅調な値動きが続いた「米国オポチュニティファンド」などへの投資比率が低めでした。



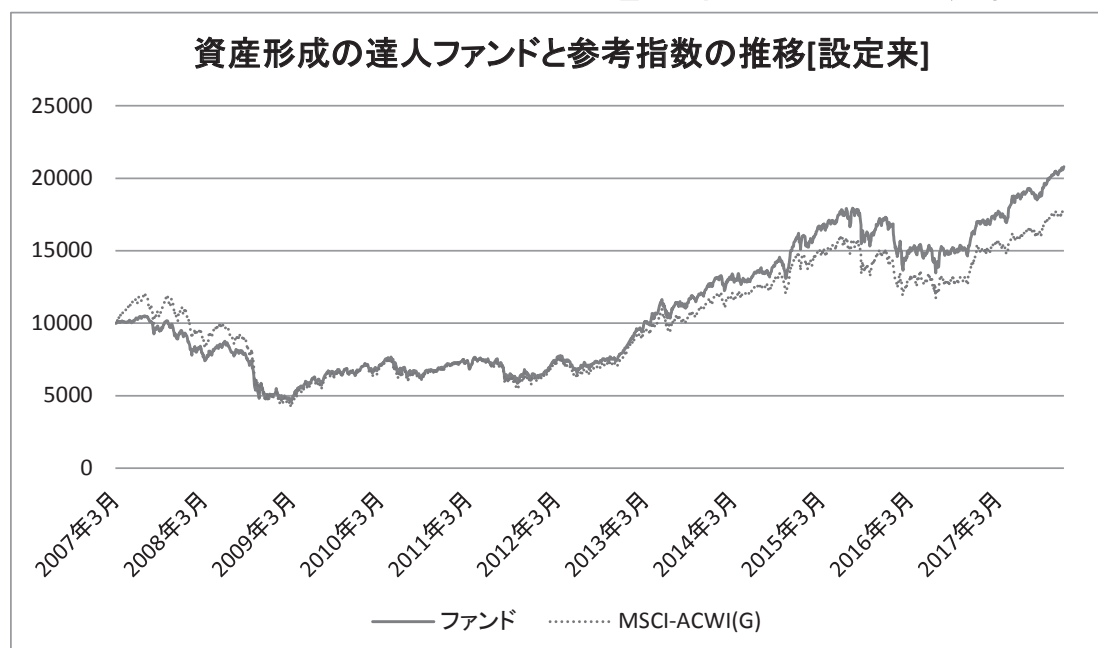
## 参考指数との差異①【達人】

- ▶ 当期は2期ぶりに参考指数であるMSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を上回りました。



## 参考指数との差異②【達人】

- ▶ 設定来でも、参考指数であるMSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を上回っています。



## 参考指数との差異③【達人】

- ▶ 第11期は、ファンドの寄与、地域別配分等（信託報酬を含む）の寄与が共にプラスでした。

	基準価額	参考指数※	差異	ファンドの寄与	地域別配分の寄与等*
設定来	108.0%	77.8%	30.2%	22.1%	8.1%
第7期	60.2%	53.1%	7.1%	4.3%	2.8%
第8期	25.2%	25.6%	-0.4%	0.7%	-1.1%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.1%	0.2%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-4.5%	-0.5%
第11期	25.0%	19.5%	5.5%	4.0%	1.5%

※MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)

\*地域別配分比率の寄与等には、当ファンドの信託報酬が含まれています。

## 分配金【達人】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

### 分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第11期
	2016年12月13日～2017年12月11日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	11,942

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針【達人】

---

- ▶ 情報技術の進化とそれに伴う社会の変化への期待が高まったことを背景に、関連する製品やサービスを提供する企業の成長期待が高まって株価が上昇したことは、当期の当ファンドの基準価額にもプラスの影響を与えましたが、そのような企業への投資においても、それぞれの企業の本質的価値と株価の関係に注目して注意深く投資を行うことに変わりはありません。
  - ▶ また、金融緩和環境が長期間継続していることを背景に、一部では過熱感も生じているようにも見受けられますが、引き続き投資先ファンドを通じて本質的価値に対して割安な銘柄に投資を行うことにより資産を守ることを意識しながら、株式への投資比率を高位に保って参ります。さらに、長期的に株価は本質的価値を反映していくことを念頭に置き、投資先ファンドのパフォーマンスが一時的に市場平均などを下回った場合でも、投資哲学や投資方針に揺るぎがなく、本質的価値を見極める能力が維持されていると考えられる限りは積極的に投資を継続し、投資先企業の本質的価値と株価の関係に注目して投資を行う一貫した方針による、長期的な資産の成長を目指して参ります。
  - ▶ その上で、出来る限り多くの投資機会を活用すること、および資産を守る観点から分散投資を行うことが重要であるとの認識のもと、幅広い地域への投資を継続して参ります。
- 

## 基本となる考え方【達人】

---

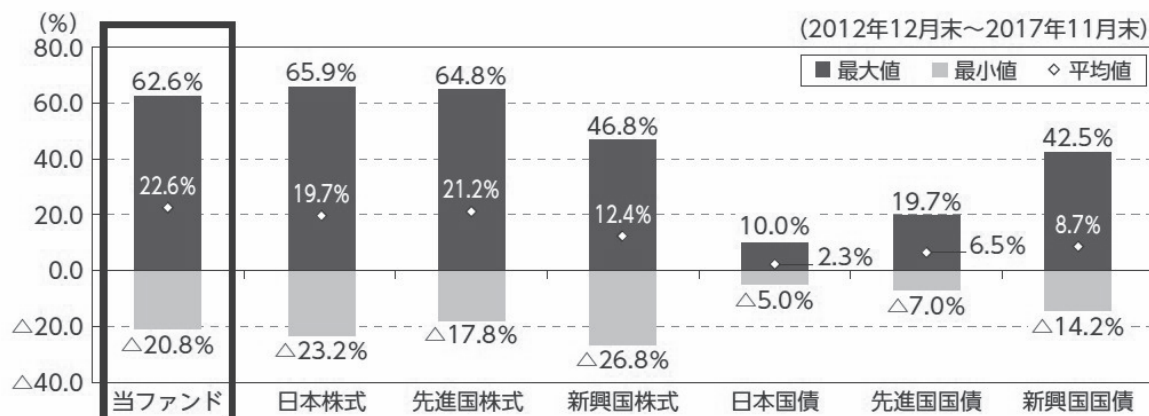
- ▶ 価格の動きを予測することは出来ない。
    - ▶ 常に市場平均を上回る成果を生み出すことは不可能。
  - ▶ 調査により将来の価値を見積もることは出来る。
    - ▶ 平均的な参加者よりも長い視点で優れた投資機会を発掘。
    - ▶ 調査項目は、ビジネスモデル、競合状況など多岐にわたる。
  - ▶ 何かを諦めることなしに、何かを得ることは出来ない。
    - ▶ 短期的にはパフォーマンス面で忍耐を強いられることがある。
    - ▶ 持たざるリスクを意識しない。
    - ▶ 将来の価値を正しく見積もり、割安な価格で投資することが出来れば、長期的には高いパフォーマンスを得ることが出来る。
-

(参考情報)

## 代表的な資産クラスとの比較【達人】

- ▶ ファンドの平均リターンは日本株式、先進国株式、新興国株式よりも良好な結果です。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 2012年12月から2017年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・ 上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

## 期末のファンド組入れ資産【達人】

- ▶ 期末の地域別の資産配分比率は、前期末と比較して、米国が低下し、欧州、日本が上昇しましたが、いずれも小幅な変動に留まっています。

当ファンドの組入れ資産の内容

(2017年12月11日現在)

### ■組入ファンド

	第11期末(2017年12月11日)
	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	26.8%
バンガード米国オポチュニティファンド	23.3%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	12.3%
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	9.9%
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	9.8%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	6.0%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)	3.8%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	3.4%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	3.1%
その他(短期金融資産等)	1.6%
組入ファンド数	9銘柄



## 業種別組入れ比率（2017年11月末現在）

- ▶ 業種別の組入れ比率に目標はなく、銘柄選択の結果
  - ▶ ヘルスケア、情報技術の比率が指数に対して高め
  - ▶ 金融、エネルギーの比率が指数に対して低め

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
一般消費財・サービス	14.1%	12.0%	2.1%
生活必需品	10.5%	8.7%	1.8%
エネルギー	0.2%	6.2%	-6.1%
金融	8.1%	18.6%	-10.5%
ヘルスケア	20.1%	10.9%	9.2%
資本財・サービス	15.0%	10.7%	4.3%
情報技術	24.0%	18.2%	5.8%
素材	3.6%	5.3%	-1.7%
不動産	0.6%	3.1%	-2.5%
電気通信サービス	2.6%	3.0%	-0.4%
公益事業	1.2%	3.1%	-1.9%

\*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。  
また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

## 積立の平均約定金額と平均基準価額の比較

- ▶ セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド
  - ▶ 基準価額の平均: 10,127円
  - ▶ 積立による平均取得価格: 10,136円(+0.09%)
  - ▶ 積立による平均取得単価: 9,561円(-5.59%)
- ▶ セゾン・資産形成の達人ファンド
  - ▶ 基準価額の平均: 10,829円
  - ▶ 積立による平均取得価格: 10,855円(+0.24%)
  - ▶ 積立による平均取得単価: 9,223円(-14.8%)
- ▶ 対象期間
  - ▶ 積立: 2007年5月～2017年11月(127回)
  - ▶ 基準価額: 2007年5月1日～2017年11月30日

※基準価額、平均取得価格、平均取得単価は1万口あたり。平均取得単価は元本÷口数



## 受益者の皆様の運用成果（設定来）

- ▶ セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド
  - ▶ 基準価額上昇率: 3.6%/年
  - ▶ 金額加重収益率(インベスターリターン)※: 6.8%/年
  
- ▶ セゾン資産形成の達人ファンド
  - ▶ 基準価額の上昇率: 7.1%/年
  - ▶ 金額加重収益率(インベスターリターン)※: 12.3%/年

※金額加重収益率(インベスターリターン)は、  
設定来の全ての受益者による投資金額の平均収益率です。

## MEMO

## 投資家から見たセゾンファンド

F C P-ファンドコンサルティングパートナーズ 房前督明氏

45 このテキストのいかなる部分も一切の権利はFCPに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

### 1. ファンド選択のポイント

---

- ①ファンドの運用の目的が理解できるか
  - ②その目的を果たすように運用されているか
  - ③その結果が満足すべきであるか
  - ④将来も継続すると期待していいか
-

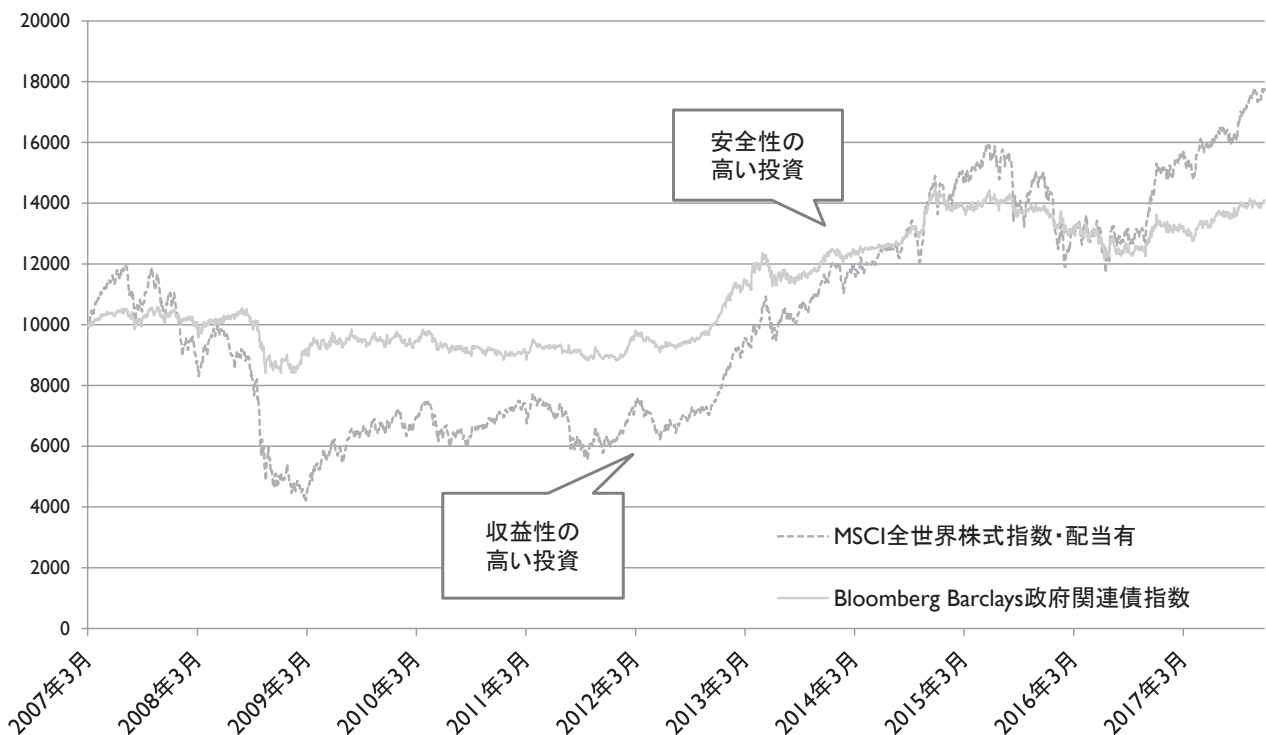
## 2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

### 【運用の目的】

- ・市場の時価総額を基準として、世界の株式と債券に1:1の割合で投資する
- ・価格変動に応じて、定期的にリバランスを行う
- ・為替ヘッジは原則として行わない

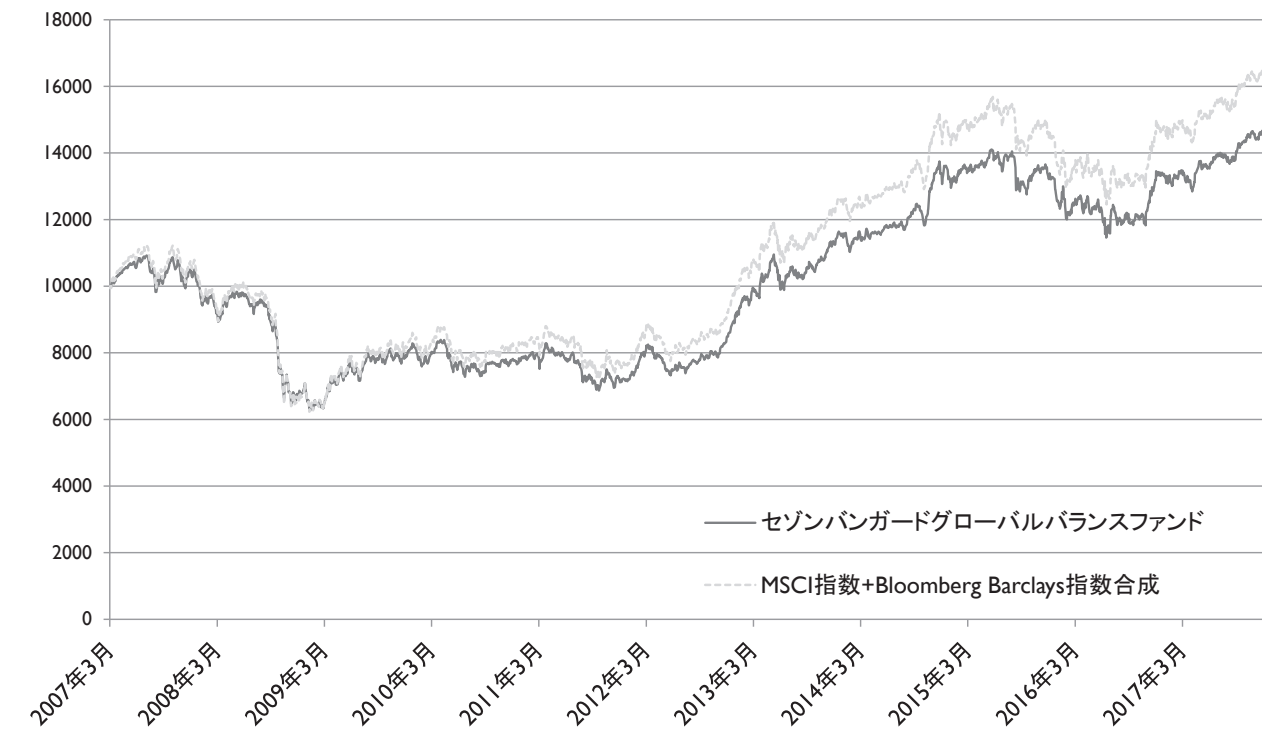
## 2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

### 【運用のイメージ】



## 2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

### 【合成指数とファンドの基準価額の比較】



## 2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

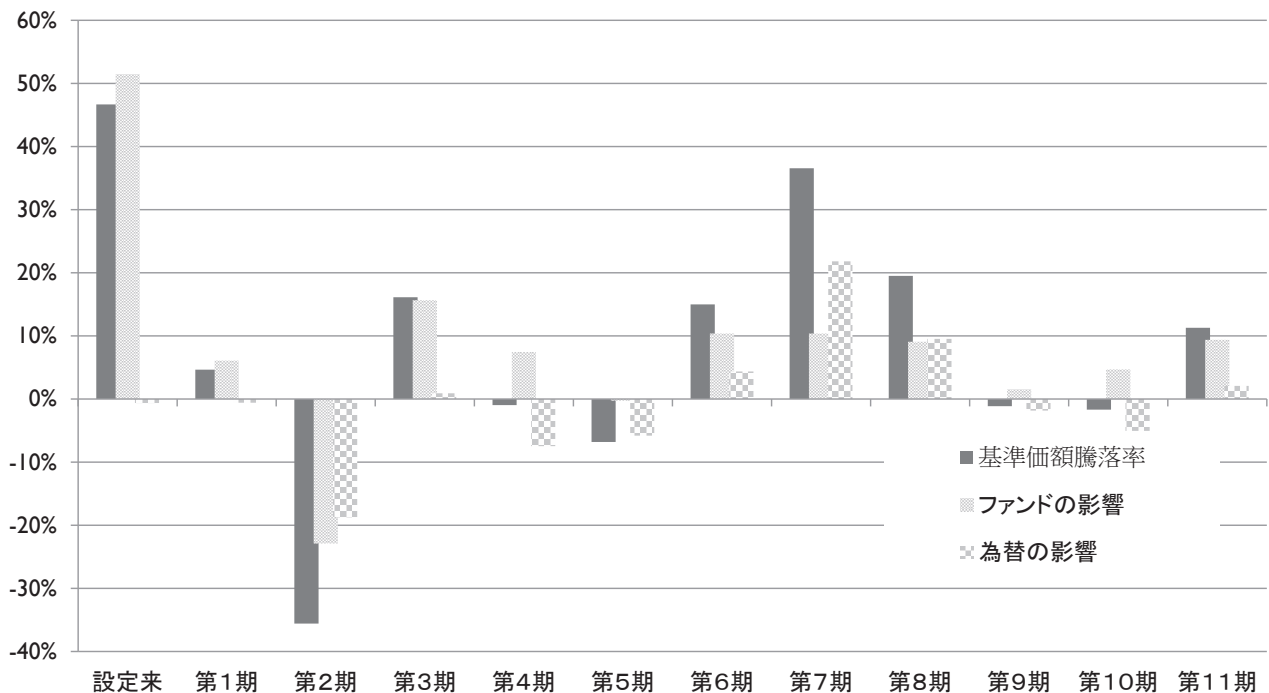
### 【リスクとリターンの特性】

	セゾン バンガード グローバル バランスファンド	MSCI全世界株 式指数(配当有・ 税引後)	Bloomberg Barclays政府関 連債指数	MSCI指数 +Bloomberg Barclays指数合 成
年換算収益率	3.63%(2.88%)	5.49%(4.15%)	3.25%(2.96%)	4.75%(3.98%)
年換算標準偏差	11.5%(11.9%)	19.6%(20.5%)	11.9%(12.1%)	13.9%(14.3%)

( )内は設定来から第10期末まで

## 2. セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

### 【期別の変動要因(ファンド(株、債券)、為替)】



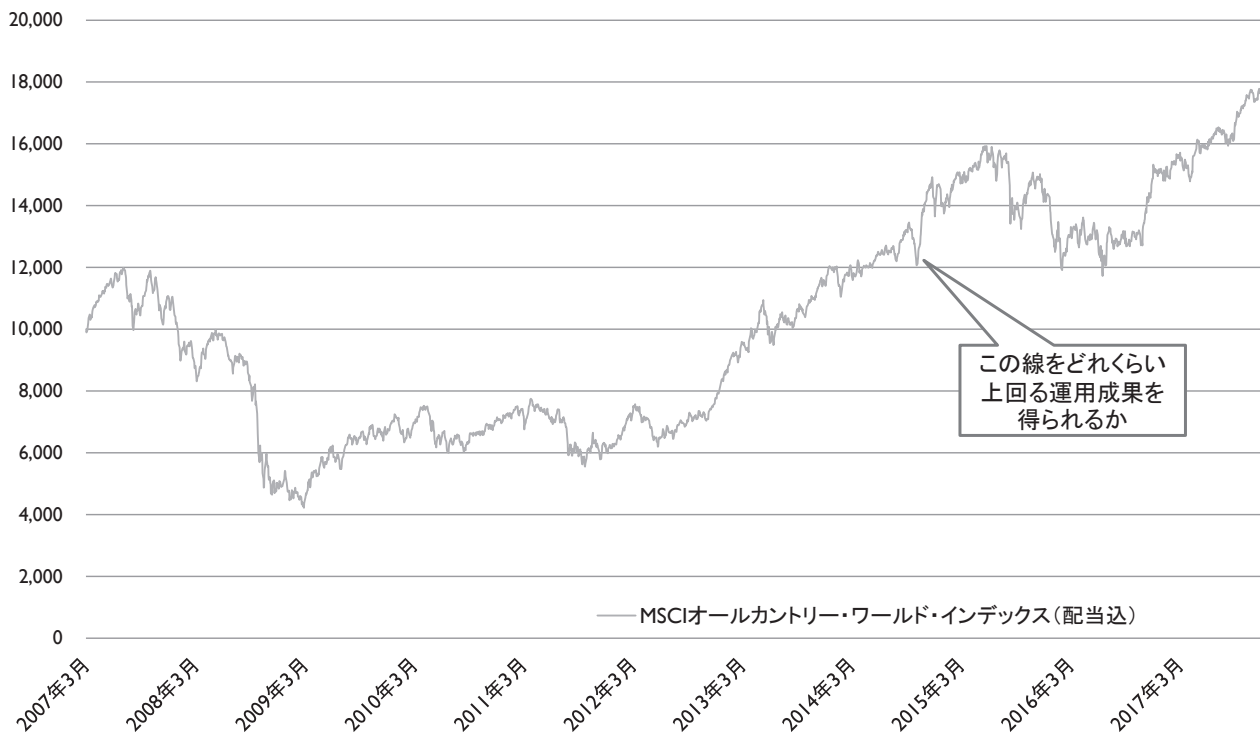
## 3. セゾン資産形成の達人ファンド

### 【運用の目的】

- ・世界におけるグッドカンパニーの株式に割安に投資することにより、市場平均を上回るリターンの獲得を目指すファンドを見つけてそのファンドに投資する
- ・為替ヘッジは原則として行わない

### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

【運用のイメージ】



### 3. セゾン資産形成の達人ファンド



### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

#### 【ファンドの選択効果】

	基準価額	参考指数※	差異	ファンドの寄与	地域別配分の寄与等※※
設定来	108.0%	77.8%	30.2%	22.1%	8.1%
第1期	-5.1%	9.9%	-15.0%	0.1%	-15.1%
第2期	-47.2%	-54.3%	7.1%	-1.9%	9.0%
第3期	32.3%	31.0%	1.3%	4.0%	-2.7%
第4期	7.3%	6.3%	1.0%	1.7%	-0.6%
第5期	-10.0%	-11.5%	1.5%	1.4%	0.1%
第6期	24.2%	22.2%	2.0%	5.3%	-3.3%
第7期	60.2%	53.1%	7.1%	4.3%	2.8%
第8期	25.2%	25.6%	-0.4%	0.7%	-1.1%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.1%	0.2%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-4.5%	-0.5%
第11期	25.0%	19.5%	5.5%	4.0%	1.5%

※MSCIオールカントリーワールドインデックス(配当込)

※※地域別配分比率の寄与等には当社の信託報酬が含まれています

### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

#### 【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
バンガード・米国オポチュニティファンド ラッセル3000種指数	12.6% 8.0%	24.2% 22.8%
AB・米国集中投資株式ファンド S&P500指数	7.7% 8.2%	19.4% 18.1%
BBHコア・セレクト・ファンド S&P500指数	13.7% 15.7%	12.2% 12.5%
コムジェスト・ヨーロッパファンド MSCIヨーロッパ指数	8.5% 3.6%	22.1% 27.8%
コムジェスト・エマージングマーケットファンド MSCIエマージング指数	6.7% 3.8%	23.8% 25.4%



### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

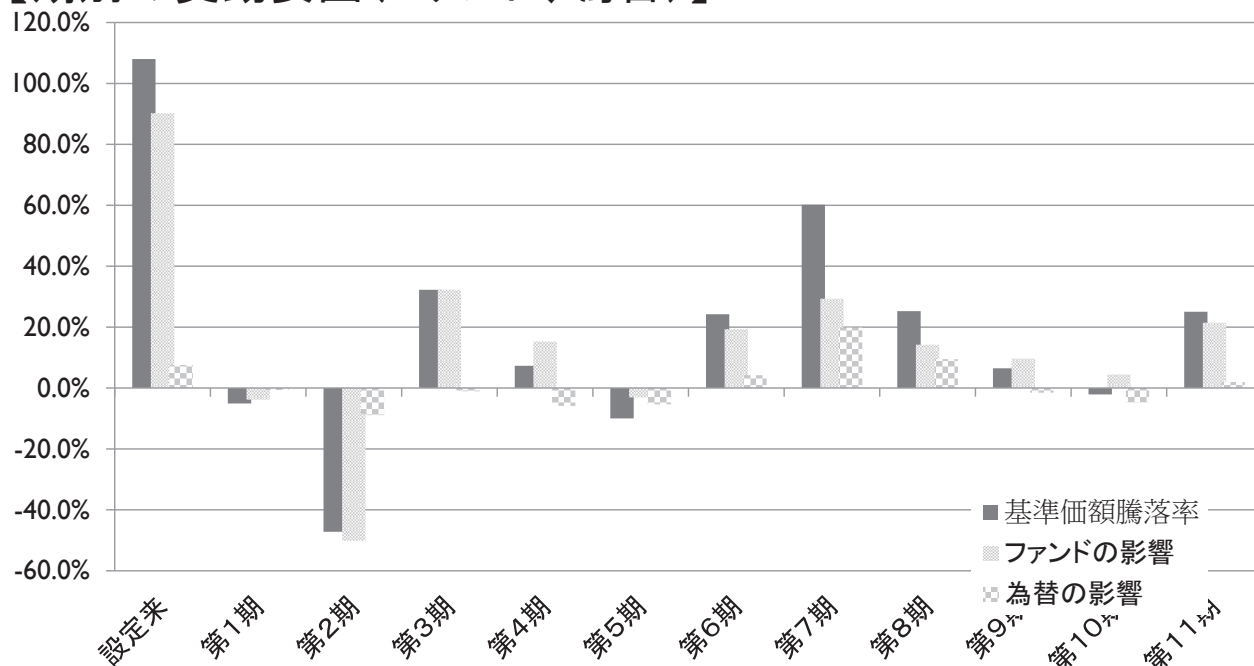
#### 【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド MSCIアジア太平洋指数	2.7%	15.5%
	5.1%	18.5%
スパークス・集中投資・日本株ファンド TOPIX	21.4%	20.2%
	11.1%	19.9%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド TOPIX	26.4%	17.6%
	17.8%	19.8%

各ファンドの組み入れ開始日(当ファンドの評価日基準)は、バンガード 米国オポチュニティファンドは2007年8月15日、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>は2008年3月12日、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>は2008年3月31日、スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は2010年3月19日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は2011年9月13日、アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(クラスI)は2015年3月23日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は2015年3月24日、BBHコア・セレクト・ファンドは2017年3月14日 です。

### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

#### 【期別の変動要因(ファンド、為替)】



※日本コムジェストヨーロッパファンドはユーロ建て、日本コムジェストエマージングマーケットファンド、スパークスワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算しています。

### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

#### 【リターンとリスクの特性】

	資産形成の 達人ファンド	MSCIオールカントリーワールド ドインデックス(配当有)
年換算収益率	7.1%(5.4%)	5.5%(4.2%)
年換算標準偏差	16.3%(16.9%)	19.8%(20.5%)

( )内は設定来から第10期末まで

### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

#### <下げ局面>

	基準価額	MSCIオールカントリー ワールドインデックス※	差異
①	2010/04/27	7,669	7,493
	2010/09/01	6,222	6,077
	騰落率	-18.86%	-18.90%
②	2011/04/08	7,654	7,739
	2011/10/05	5,869	5,560
	騰落率	-23.32%	-28.16%
③	2012/03/28	7,768	7,475
	2012/07/26	6,830	6,440
	騰落率	-12.07%	-13.85%
⑥	2015/08/12	17,842	15,694
	2016/02/15	13,653	11,911
	騰落率	-23.48%	-24.10%

### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

<上げ局面>

	基準価額	MSCI オールカントリー ワールドインデックス	差異	
④	2012/11/12	7,393	7,043	
	2013/05/23	11,639	10,928	
	騰落率	+57.43%	+55.16%	+2.27%
⑤	2013/06/14	10,358	9,537	
	2014/12/10	15,960	14,550	
	騰落率	+54.08%	+52.56%	+1.56%
⑦	2017/8/22	18,497	15,935	
	2017/12/11	20,804	17,782	
	騰落率	+12.47%	+11.59%	+0.88%

※設定日を10,000として換算した値

### 3. セゾン資産形成の達人ファンド

ダウンサイド キャプチャーレシオ	80.0%
アップサイド キャプチャーレシオ	88.4%

※計測期間は2007年4月～2017年11月(月次ベース)

## (付録) 運用報告会でよく使われる用語集

### ・アセットアロケーション

国内外の株式や債券、短期金融商品など様々な資産に適切に配分すること。

### ・為替ヘッジ

外貨建資産を組入れた際に為替リスクを小さくするためにとられる手法のこと。為替ヘッジにはコストがかかるが、為替や金利の動向によってはそのコストが想定以上に発生することもある。

### ・シャープレシオ

1リスク単位に対するリターンを算出し、リスクに対しどれだけのリターンを得たのかを示す、リスク調整後リターンの代表的な指標。

### ・騰落率

基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出し、投資信託のリターンを測るための数値のこと。

### ・標準偏差

どれだけばらつきがあるのかを示す値のこと。投資信託においてはリスクの度合いを測ることが多い。

### ・ベンチマーク

投資信託を運用する際に目標とする基準、あるいはパフォーマンスを評価する基準のこと。

### ・リバランス

ポートフォリオ運用を行う際に、相場の変動などにより変化した投資配分の比率を調整すること。

## (付録) あなたのNISAよくある質問ベスト3

つみたてNISAスタート！その前に・・・

### NISAとつみたてNISAで誤解していませんか？

Q1. つみたてNISAを申し込んだ場合、現在のNISA口座はなくなってしまうの？

A1. これまでのNISA口座は非課税期間終了まで維持されます。

口座内で既に保有しているファンドは、引き続き、非課税で保有できます。

Q2. 今、NISA口座を開設しています。非課税期間※が終了したらNISA口座にあるファンドを売らないといけないの？

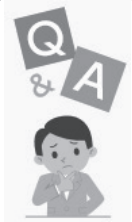
A2. 課税口座（特定口座または一般口座）に移す、もしくはロールオーバー※を利用して運用を続けられます。

Q3. ファンドを売らないと、非課税のメリットは受けられないの？

A3. ファンドを保有していてもメリットがあります。非課税期間終了時に基準価額が上昇していた場合、その時点の基準価額が新たな取得価額とみなされますので、非課税期間中の上昇分は課税対象になりません。（非課税期間終了時に基準価額が下落していた場合、デメリットもあります。）

※非課税期間：NISAの場合、最長5年間。

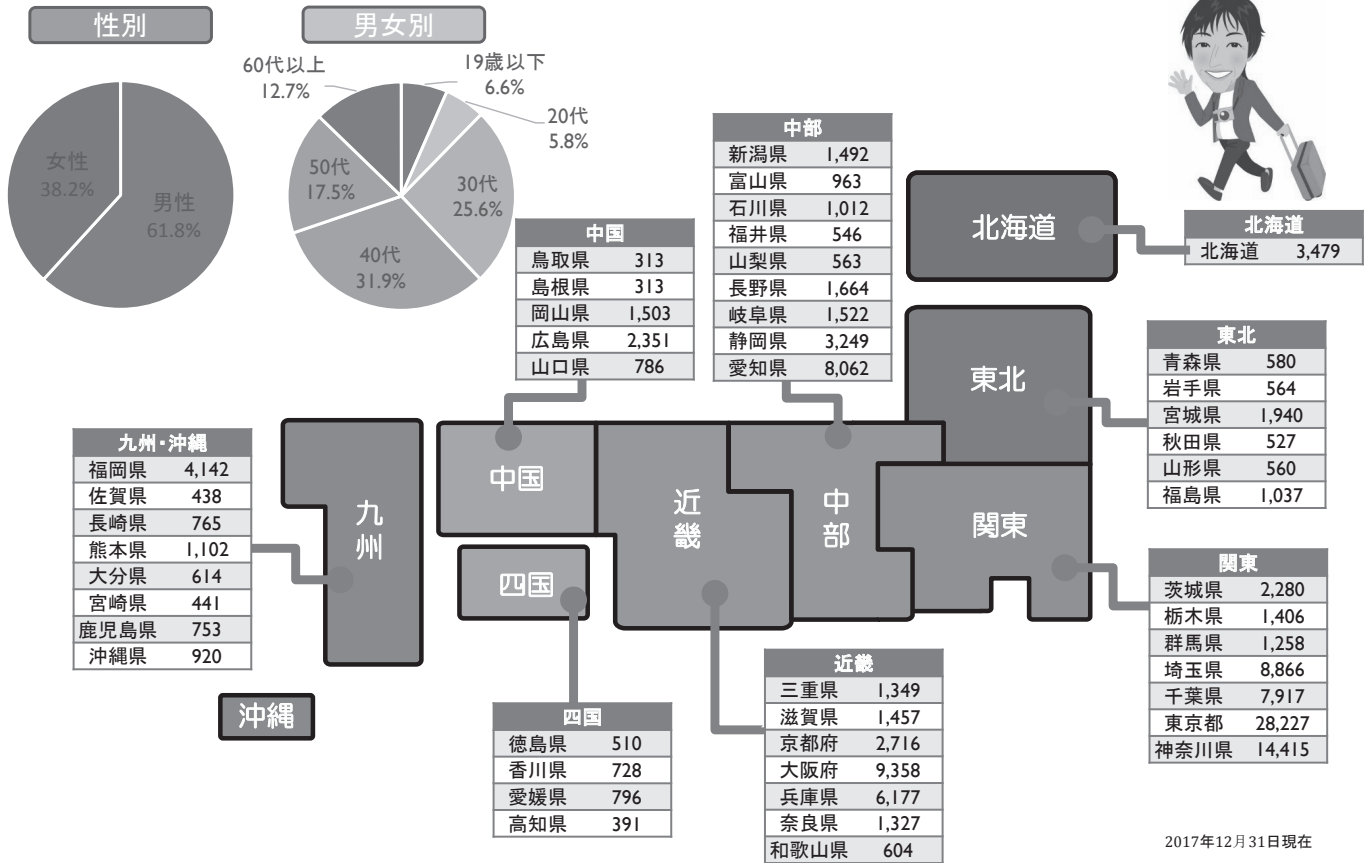
※ロールオーバー：5年間の終了時点で翌年の非課税枠に引き継ぐことができます。（つみたてNISAは不可）



▶ 詳しくはこちら

セゾン投信 よくある質問ベスト3 検索

# お客さまの特徴 & 都道府県別お客さまマップ



## (付録) 「長期投資×？」の化学反応!? セゾン投信のラジオ風番組



### Podcast「中野晴啓のはるラジ」

わずか1年半でiTunes登録者数が13万人突破！  
毎回魅力あるゲストと対談するラジオ風番組です。  
毎月2回にわたって対談の様様を音声コンテンツとしてお届けしています。  
ゲストは業界をまたいで多彩。

『長期投資×？』の化学反応により何が生まれるのでしょうか。



杉山 智行氏  
クラウドクレジット株式会社  
代表取締役  
2018年1月15日 Vol.43



小林 照子氏  
美容研究家  
2017年10月31日 vol.37



市江 正彦氏  
スカイマーク株式会社  
代表取締役  
2017年7月31日 vol.31



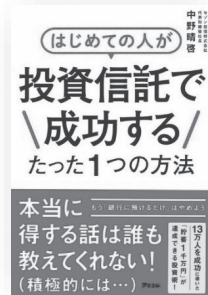
バックナンバーもご視聴いただけます！

セゾン投信のサイト（QRコード）から直接視聴するか  
スマートフォンアプリ「Podcast」をインストールの上、番組を「はるラジ」で検索してご視聴ください。



## (付録) セゾン投信を知る出版物

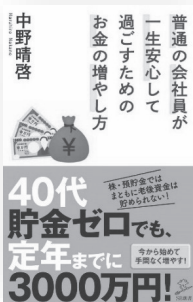
はじめての人が  
投資信託で成功するたった1つの方法



最新刊

著者：中野晴啓  
出版社：アスコム  
発売日：2018年12月16日  
定価：1,300円(税別)

普通の会社員が一生安心して  
過ごすためのお金の増やし方



最新刊

著者：中野晴啓  
出版社：SBクリエイティブ  
発売日：2017年12月6日  
定価：800円(税別)

お金のワソ  
親の常識は、これからの非常識!



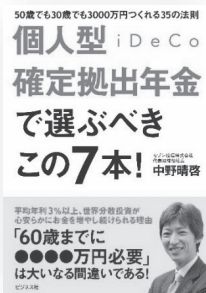
著者：中野晴啓  
出版社：講談社  
発売日：2017年7月5日  
定価：1,500円(税別)

預金バカ  
賢い人は銀行預金をやめている

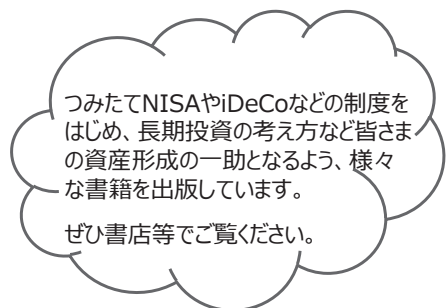


著者：中野晴啓  
出版社：講談社+α新書  
発売日：2014年7月22日  
定価：840円(税別)

個人型確定拠出年金iDeCoで選ぶべきこの7本!  
50歳でも30歳でも3500万円つくれる35の法則



著者：中野晴啓  
出版社：ビジネス社  
発売日：2017年5月1日  
定価：1,400円(税別)



## ご留意事項

- ▶ 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託へご投資の際は、信託報酬等所定の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用等については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。
- ▶ ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえご自身でご判断ください。
- ▶ MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。また、特に断りがない限り、参照指数は円建てに換算しています。
- ▶ ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

商号：セゾン投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会



いそがないで歩こう。